

全 國

商工新聞

長岡版

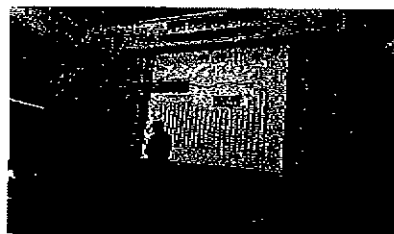
発行編集 長岡民主商工会
長岡市中沢町一六七二
〇二五八・三三二・五九四八

2019年
5月27日
第1957号

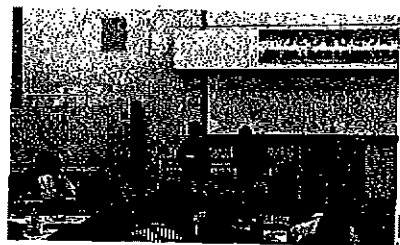
5月も終わりを迎え、
初夏を感じる
季節になりました

新商連婦人部協議会が定期総会を開催 業者婦人が元気に活躍できる社会を目指すための活動方針を採択

6月19日(日)、新潟市のユニゾンプラザにおいて県婦人部協議会(県婦協)の定期総会が開催されました。総会に先立ち、平和新聞編集長でジャーナリストの布施祐仁さんが「軍事費と消費税」と題して記念講演を行いました。今年度の防衛予算は米軍再編経費を含み過去最大の5兆2574億円。そのうちの約4割は過去に購入した兵器のローンに当てられておりローン残高が年度予算額を超しているのが実態です。戦争と税制の関係でいえば大型間接税(消費税)や「源泉徴収」制度はかつてドイツが戦費調達のために導入したものであり、布施さんは「主権者である私たち国民が、自分たちが納めた税金が適正・適切に使われているか行政をしっかりと監視する必要がある」と訴えかけました。



午後の総会では長岡民商婦人部長の片桐ミサさん(小国支部)が議長団に選出され、議事を進行。来賓として挨拶に立った新商連の渡部睦夫会長は「安倍政権を倒さなければ変わらない。退陣に追い込みましょう」と力強く呼びかけました。



その後は総会方針案や決算・予算を提案。県婦協と県内各民商婦人部からの代表発言では、それぞれが1年間の活動を報告。また、引き続きの新役員選出では長岡民商婦人部の樋口信子さん(小国支部)が新たに幹事に選出されました。

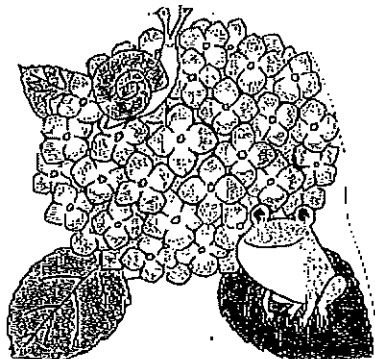
閉会のあいさつでは、県婦協の中村恵美子副会長も「夏の参院選勝利」を訴えました。「憲法9条を守る」「消費税の増税中止」「参院選勝利」など、これからも運動が続きます。業者婦人が元気に活躍できる社会の実現を目指し、民商婦人部は歩んでいきます。



総会の時期を迎えます

支部・班で集まりを持ちましよう

5月も間もなく終わろうとしています。6月から7月にかけて、民商は総会の時期を迎えます。6月2日(日)に新潟市において新商連(県連)総会が共済会総会との合同で開催されるのに続き、長岡民商の総会が7月21日(日)に予定されています。



民商総会に先立ち各支部では毎年、支部総会などを開催し、総会に送り出す代議員の選出や役員推薦などを行ってまいります。同時に仕事や暮らしのことなどについて話し合う機会にもなります。今年は10月に消費税の増税を控え、事業所にとっては影響の大きいインボイス(適格請求書保存方式)も4年間の経過措置期間を経て、2023年10月に導入予定です。これまで民商では消費税増税反対の行動を行ってまいりましたが、同じ思いの仲間を増やすこと、仲間とともに声をあげ続けることが大切です。声をかけあい、是非集まりの機会を持ちましよう。

労働保険の年度更新

手続きを終えました

例年通り、4月の中旬から労働保険の確定と新年度の更新手続きを行っていましたが、委託事業所の全員から資料をいただくことができました。

保険料について、1期分の引き落としのご案内は6月に入ってからになる予定です。ご確認をよろしく申し上げます。